

令和7年10月10日

東日本高速道路株式会社 北海道支社

## 高速道路上での逆走車両の発生を想定した路上作業訓練を実施しました



NEXCO東日本北海道支社(札幌市厚別区)は、北海道内では初めて高速道路上での逆走車両発生を想定した路上作業訓練を、10月10日(金)に **E5 道央自動車道 苫小牧中央インターチェンジ構内**で実施しました。

本訓練は、高速道路上での逆走車両の発生を想定し、NEXCO東日本交通管理隊のパトロールカーの現場到着から、各関係機関への連絡・通報、車線規制、後続の一般車両の安全確保、逆走車両対応までの一連の対応について、訓練を実施したものです。

**1. 実施日時** 令和7年10月10日(金) 10:50 ~ 12:30

**2. 実施場所** **E5 道央自動車道 苫小牧中央インターチェンジ 構内**

**3. 参加機関** 東日本高速道路株式会社 北海道支社  
株式会社ネクスコ・サポート北海道

**4. 実施概要** 高速道路上での逆走車両発生を想定し、通報を受けてからの一連の対応方法について、訓練を通じて確認したもの。

- ① 「逆走車両を目撲した」との通報を受けた道路管制センターが、交通管理隊に指令を出し、交通管理隊が現場へ急行、順行する車両の安全を確保するため、現場通行止めを実施
- ② 逆走車両に隊員が合図を送り、停止・反転を促す
- ③ 停止させた逆走車両とその運転手を安全な場所に移動させ、安全を確保

『実施した路上作業訓練の様子』



NEXCO東日本グループでは、2021～2025年度までの期間を「SDGsの達成に貢献し、新たな未来社会に向け変革していく期間」と位置づけ、様々な取り組みを行っています。

今回の「路上作業訓練」については、交通事故による死傷者の削減などにつながる事業活動としてSDGs目標の3番に貢献するものと考えています。

